

# 第96期 第2四半期 株主通信

2018.4.1 ▶ 2018.9.30

証券コード：6768

## 株主の皆様へ

株主の皆様には、日頃より当社グループ事業への厚いご支援を賜り心より御礼申し上げます。

ここに第96期（2018年度）第2四半期株主通信（2018年4月1日から2018年9月30日まで）をお届けし、営業活動および決算のご報告と共に、今後に向けた取り組みをご説明させていただきます。ご一読の上、引き続きのご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2018年12月  
代表取締役社長 田村 直樹

## 連結業績の概要（第2四半期累計期間および通期見通し）

売上高		親会社株主に帰属する純利益	
当第2四半期	通期見通し	当第2四半期	通期見通し
431 億円	873 億円	14.9 億円	45 億円
前年同期比 3.9%増 ▲	前期比 2.0%増 ▲	前年同期比 28.6%減 ▼	前期比 23.9%増 ▲
営業利益		経常利益	
当第2四半期	通期見通し	当第2四半期	通期見通し
19.0 億円	54 億円	19.5 億円	53 億円
前年同期比 27.0%減 ▼	前期比 0.1%減 ▼	前年同期比 28.8%減 ▼	前期比 3.3%減 ▼

当社グループは本年を最終年度とする「第11次中期経営計画 Bilrite Tamura GROWING」で目指す、収益性の向上を第一とした豊かな成長の実現に向け取り組んでおります。

当第2四半期累計期間において、電子部品関連事業は、エアコン用リアクタや、送配電向けの大型トランス・リアクタなどが堅調に推移いたしました。中国工場の採算悪化や、電源機器の不具合に伴う修理費用の計上により、収益性が低下いたしました。電子化学実装関連事業は、車載向けの高信頼性ソルダーペースト・ソルダーレジストが自動車の電動化・電子化を背景に堅調に推移するとともに、スマートフォン新モデル向けのソルダーレジストが例年より早めに立ち上がり夏場に生産ピークを迎えました。実装装置は、中国の設備投資減速の影響を一部で受けたものの、自動車関連メーカーからの力強い需要が継続し堅調に推移いたしました。情報機器関連事業は、通信事業者向けの監視装置の更新対応が早目に進行するとともに、放送局向けを中心とした音声調整卓が堅調に推移いたしました。こうした結果、売上は増収ながら、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益は減益となりました。

引き続き市場環境は不透明な見通しが予想され、2018年5月10日に公表いたしました2019年3月期通期連結業績予想の売上高、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益をそれぞれ修正いたしました。当期の中間配当金は1株当たり5円、期末配当予想も期初予想と変わらず1株当たり5円としております。株主の皆様におかれましては、変わらぬご支援をお願い申し上げます。



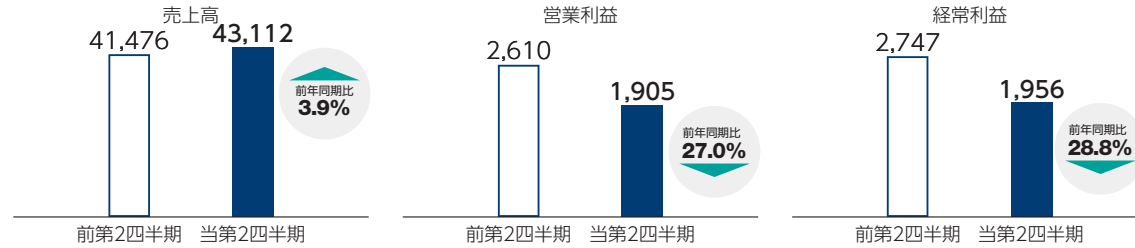
# 決算情報

## 業績概況

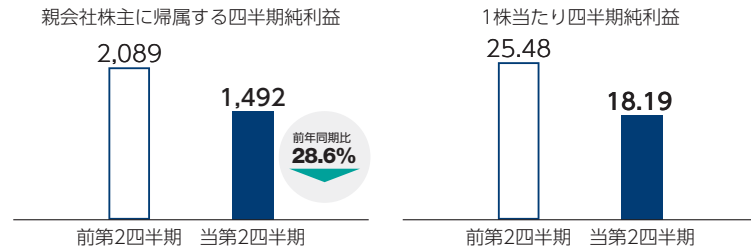
## Review of Operations

売上高は増収ながら、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益は減益となりました。

### 連結損益計算書の概要 (単位：百万円)



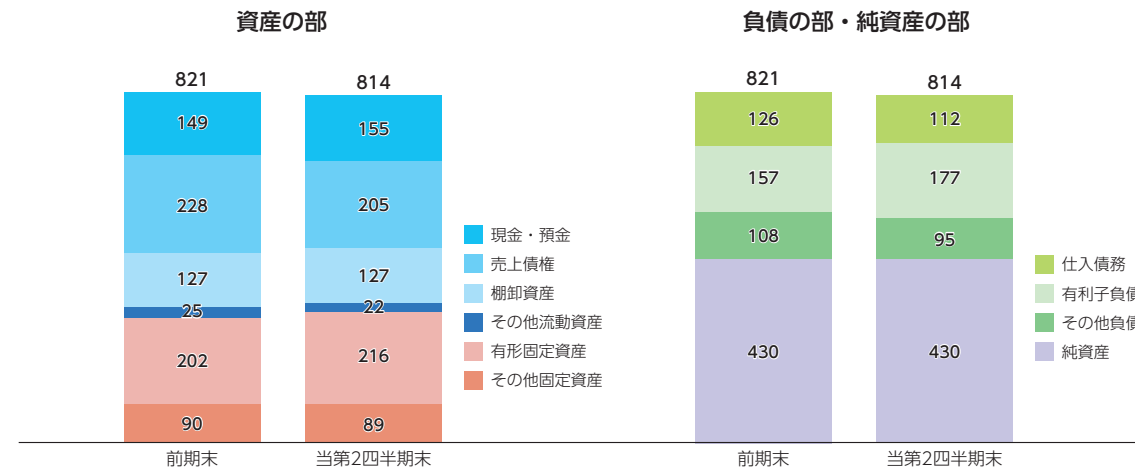
### 1株当たり情報 (単位：円)



### 連結貸借対照表の概要

### Summary of Consolidated Balance Sheet

(単位：億円)



## セグメント情報

## Segment Information

### 情報機器関連事業 (4%)

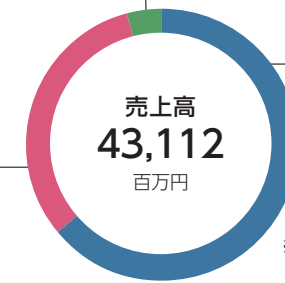
1,684 百万円

### 電子部品関連事業 (64%)

27,816 百万円

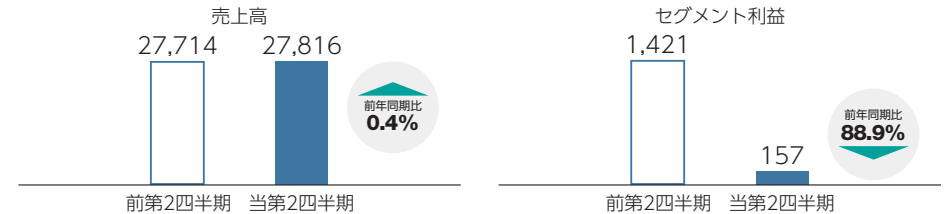
### 電子化学実装関連事業 (32%)

13,654 百万円

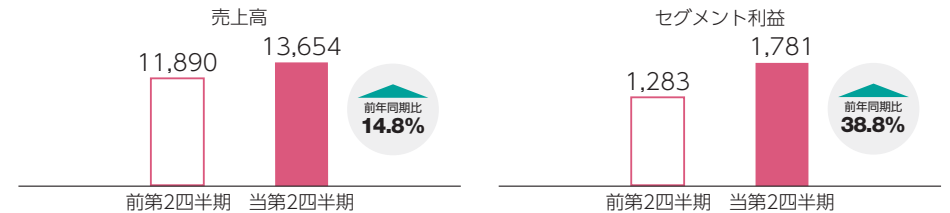


※各セグメントの売上高は、セグメント間の内部売上高を含めて表示しております。

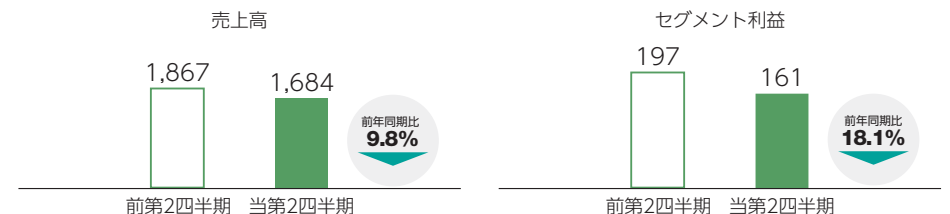
### ● 電子部品関連事業 (単位：百万円)



### ● 電子化学実装関連事業 (単位：百万円)



### ● 情報機器関連事業 (単位：百万円)

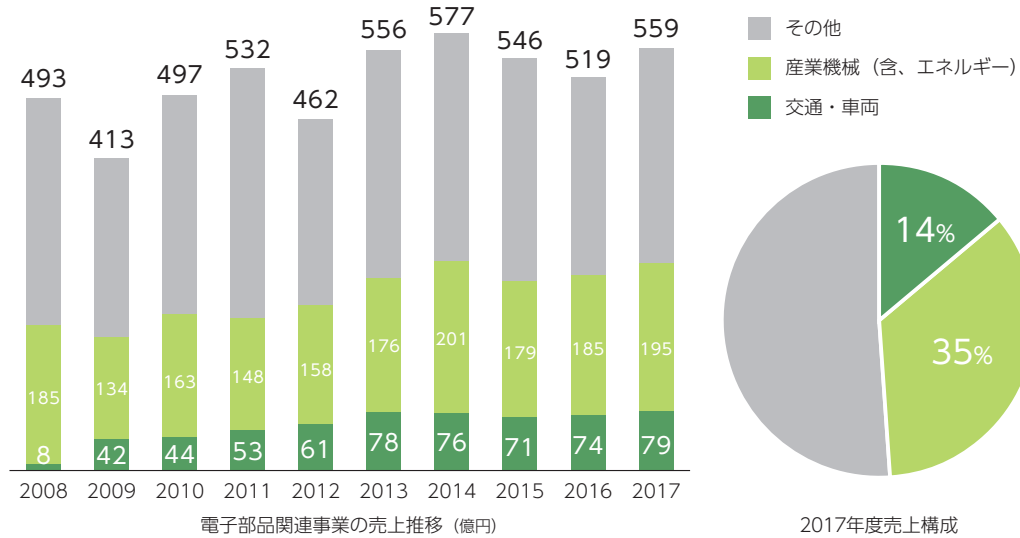


# トピックス

## Topics 電子部品関連事業の車載市場への取り組み

### 電子部品関連事業における車載市場の位置づけ

電子部品関連事業は、車載用電子部品をはじめとした交通・車両市場向けと、産業機械市場向け製品の拡大により、安定した売上確保と、収益性の改善に向けた取り組みを進めています。現在、これらの売上は、事業の約半分を占めています。



### 環境車向け昇圧リアクタのニーズ拡大

電子部品関連事業における、車載向け市場への売上が最も大きな製品は「環境車向け昇圧リアクタ」です。

ハイブリッド車・プラグインハイブリッド車・電気自動車などの環境対応車を普及させるには、燃費対策だけでなく走行性能や加速性能も求められており、モーターの高出力化が鍵となります。そのためには、バッテリー電圧を高めるための昇圧コンバータが必要となりますが、このコンバータの中核を担うのがリアクタです。

小型・低損失・低コスト・静音化はもとより、駆動系の部品としてエンジンルームに搭載されることから、高い信頼性が要求されます。

現在、こうした環境車の普及拡大に伴い、昇圧リアクタの市場ニーズが拡大しております。これまでは、ストロングハイブリッド車（昇圧システムを搭載した車両）の需要は、限定的となっておりますが、直近におきましては、厳しい燃費規制に対応するため、ストロングハイブリッド車の需要が急速に拡大する見通しです。こうした将来に向けたグローバルな需要拡大に対応するため、生産能力増強が必要な状況となっております。

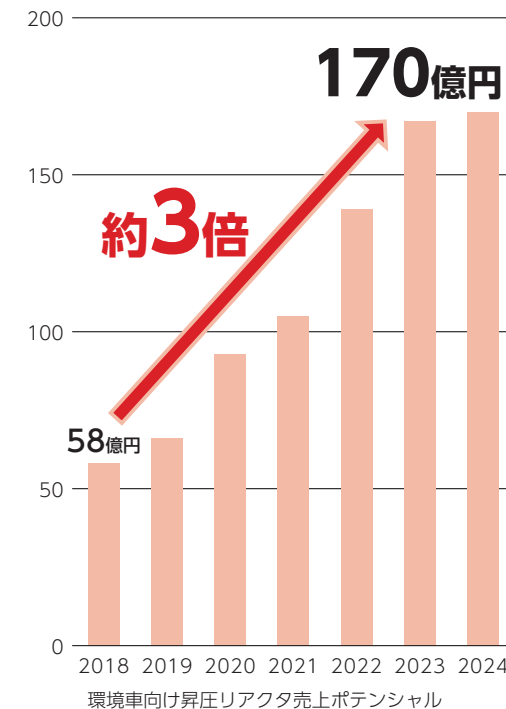


### 電子部品の国内外工場増設による環境車向け昇圧リアクタの生産能力増強

当社グループは、ハイブリッド車・プラグインハイブリッド車・電気自動車などの将来に向けたグローバルな需要拡大に対応するため、国内外工場における「環境車向け昇圧リアクタ」の生産能力を増強する方針を決定いたしました。国内2工場の生産能力を拡大し、海外では初めてとなる「環境車向け昇圧リアクタ」の量産工場を設置することにより、現在年間200万台の生産キャパシティを拡大し、2022年以降には約3倍となる年間550万台の生産を可能とする体制を構築いたします。

	株式会社タムラ製作所 坂戸事業所	株式会社 若柳タムラ製作所	田村電子 (惠州) 有限公司
所在地	埼玉県坂戸市	宮城県栗原市	中国広東省惠州市
面積	3,000㎡ (建物増設部分)	6,200㎡ (車載以外も含む工場総床面積)	5,000㎡ (車載工場総床面積)
投資額	22億円 (建物・生産設備)	9億円 (生産設備)	17億円 (土地・建物・生産設備)
生産能力	年間50万台を 150万台に拡大	年間50万台を 100万台に拡大	最大200万台まで 拡大予定 (新設)
稼働予定	2020年	2020年	2022年

※国内では上記拠点のほかにも年間100万台の生産があり、現在年間200万台の生産キャパシティを有しております。



若柳タムラ製作所 (宮城県栗原市)



タムラ製作所 坂戸事業所 (埼玉県坂戸市)

## 会社の概況 (2018年9月30日現在)

- 社名 株式会社タムラ製作所
- 英文社名 TAMURA CORPORATION
- 設立 1939年11月21日
- 資本金 11,829百万円
- 従業員数 連結 5,414名 単独 865名
- ホームページ アドレス  
https://www.tamura-ss.co.jp/
- 本社 東京都練馬区
- 事業所 埼玉県(坂戸市・入間市・児玉郡・狭山市)

- 役員 (2018年9月30日現在)

代表取締役社長	田村 直樹	常勤監査役	久保 肇
取締役専務執行役員	浅田 昌弘	監査役(社外)	守屋 宏一
取締役常務執行役員	李 国華	監査役(社外)	戸田 厚司
取締役常務執行役員	橋口 裕作	上席執行役員	清田 達也
取締役(社外)	藁宮 武夫	上席執行役員	舞木 孝一郎
取締役(社外)	窪田 明	上席執行役員	小波藏 政玄
取締役(社外)	渋谷 晴子	執行役員	柴田 誠治
取締役上席執行役員	南條 紀彦	執行役員	木村 明
取締役上席執行役員	齋藤 彰一	執行役員	新保 敦
		執行役員	中村 充孝

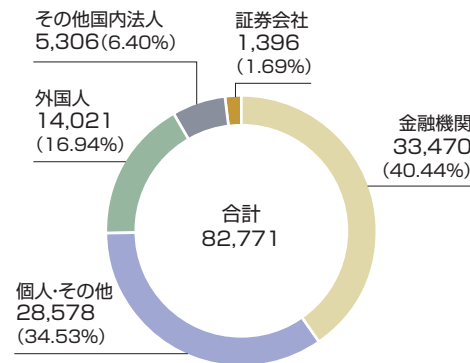
## 株式の概況 (2018年9月30日現在)

- 発行可能株式総数 ..... 252,000,000 株
- 発行済株式の総数 ..... 82,012,589 株 (自己株式 758,884 株を除く)
- 株主数 ..... 12,184 名
- 大株主(上位10名)

株主名	当社への出資状況	
	持株数(千株)	持株比率
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	7,227	8.81%
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	3,518	4.29%
タムラ協力企業持株会	3,420	4.17%
株式会社三井住友銀行	3,200	3.90%
株式会社みずほ銀行	2,799	3.41%
BNP PARIBAS SECURITIES SERVICES LUXEMBOURG/JASDEC/FIM/LUXEMBOURG FUNDS/UCITS ASSETS	2,500	3.05%
株式会社りそな銀行	1,911	2.33%
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口9)	1,903	2.32%
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505224	1,757	2.14%
資産管理サービス信託銀行株式会社(証券投資信託口)	1,607	1.96%

(注) 持株比率は、自己株式 758,884 株を除いて算出しております。

■ 所有者別株式分布状況 (単位:千株)



(注) 自己株式 758,884 株(0.92%)は個人・その他に含まれております。

## 株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで  
 定時株主総会 毎年6月開催

基準日 定時株主総会 毎年3月31日  
 期末配当金 毎年3月31日  
 中間配当金 毎年9月30日  
 そのほか必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日

公告方法 電子公告  
<https://www.tamura-ss.co.jp/jp/finance/index.html>

株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号  
 三井住友信託銀行株式会社

株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号  
 事務取扱場所 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

(郵便物送付先) 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号  
 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

(電話照会先) ☎0120-782-031

(インターネット) <https://www.smtb.jp/personal/agency/index.html>  
 ホームページURL

### 【特別口座について】

特別口座の 三井住友信託銀行株式会社または  
 口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社

### (ご注意)

当社は2011年8月1日付で株式会社光波を株式交換により完全子会社化しておりますが、同社株式を保有されていた株主様の内、特別口座に記録された株式の特別口座の口座管理機関は三菱UFJ信託銀行株式会社となりますので、ご注意ください。

## 株式会社タムラ製作所

<https://www.tamura-ss.co.jp/>

当冊子に関するお問い合わせ先：  
 〒178-8511 東京都練馬区東大泉一丁目19番43号  
 TEL 03-3978-2111

